

MetaTrader4

使いこなしガイド

master guide

MT4



チャート時系列の移動

■ チャートスクロール

メタトレーダーにはチャートのスクロール一つとっても様々な方法で行う事が出来ます。

- チャート上でマウス左ドラッグ

チャートの時系列を左右にスクロール

- マウスホイールの上下
- キーボードの左右キー
- キーボードの上下キー

■ ページ単位でスクロール

- PageUP キー PageDown キー

■ 表示できる一番過去のチャート

- Home キー

■ 表示出来る一番最近のチャート

- End キー

■ 1バーずつ移動

- F12 キー

■ 1バーずつ戻る

- Shift+F12 キー

Tips:

チャートの時系列を動かして、過去のチャート参照する時に、新しくチャートが更新されると自動的に右端（最新）に戻ってしまい、大変ストレスです。

そのようなときは、対象のチャートを右クリック - プロパティを開き、全般タブのチャートの自動スクロールのチェックを外してください。

チャートが更新されても右端に移動しなくなります。

右クリック - プロパティの代わりにチャートを選択して F8 を押してもプロパティが開きます。

指定の日時へ直接移動

チャート上で Enter キーを押して表示されるボックスに、
DD.MM.YY HH:MM (日 . 月 . 年 時間 : 分)
の形式で入力した後、再度 Enter を押します。
0 (ゼロ) は省略することができます。
例 : 7 月 8 日 2009 年 = 7.8.9

この ”ファーストナビゲーションボックス” では
日時の指定だけでなくチャートの足、通貨も指定する事ができます。

— 入力フォーマット

1. 時間 例 : 08:30; 8:30;
2. 日 例 : 2004.10.16; 16.10.2004; 16.10.04;
3. 日時 例 : 2004.10.16 8:30; 16.10.2004 8:30; 16.10.04 8:30;
4. 通貨ペア 例 : GBPUSD; EURUSD;
5. 時間足 例 : M1; M5; M15; M30; H1; H4; D1; W1; MN;
6. 複合 例 : GBPUSD, M30; EURUSD, D1;

チャートの上下幅の伸縮

メタトレーダーのチャートではウインドウのサイズに合わせて最適なスケールにチャートは調整されます。

しかし稀にインディケーターが隠れてしまったり、細部を確認したかったり垂直幅を縮小したくなることがあります。

チャートの右軸を上下にドラッグするとチャートの上下幅を拡大縮小することができます。

チャート拡大縮小

チャートウインドウの下部、水平軸を左右にドラッグします。
右にドラッグすると拡大表示、左が縮小表示です。
また、+キーと-キーも同じ動作をします。

インフォメーションバブル

ローソクや各種ライン上で、マウスカーソルを止めるとバブル上に各種詳細情報が表示されます。

インディケーター

適用したインディケーターの近くでマウスの左ダブルクリックでインディケーターの詳細プロパティが開きます。

また、同様にインディケーターの近くで右クリックでコンテキストメニューを開きます。

図形オブジェクト

メタトレーダーは各種ライン、図形、テキストなどチャート上にさまざまなラインを引くことができます。

配置後、左クリックで移動出来るようになります。

例えばトレンドラインを引く場合、トレンドラインを選択後、引きたいラインの始点で左クリックし、そのままドラッグして終点まで引っ張ります。

その後、ラインをクリックすると3つのポイントが表示されます。

真ん中のポイントをドラッグすればラインは平行移動します。

左右の端のポイントをドラッグすれば、ラインの角度は変化し、

思い通りのポイントに配置する事ができます。

両端のポイントをドラッグしたときに表示される「X/Y」の数値は X が始点、終点間のキャンドルの数、Y は垂直の pips を数えてくれます。

また、ctrl を押しながらクリックすると複製する事ができます。

トレンドラインなどを平行に素早く複製するのに役立ちます。

BackSpace キーを連続で押すと、オブジェクトを挿入した逆順で消し続け、ctrl+z で一つずつ元に戻します。

十字カーソル

メタトレーダーで最も強力な情報ツールの一つです。

マウスホイールクリック

ctrl+F

ツールバーから十字カーソルを選択

で十字カーソルを呼び出すことができます。

チャートの右側には価格、下側には詳細な日時が表示されます。

チャート上で左クリックすると、カーソルに戻ります。

適用したチャートが多すぎて正しくインディケーターがマウスで選択できない場合、チャート上で ctrl+I で表示中の野線分析ツールを開き、選択します。